



TOPICS



出品牛の「博」号と千葉さん

7/27 全共出品牛 県代表決まる

第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会（令和4年10月開催）の肉牛の部、第7区「脂肪の質評価群」に千葉大さん（藤沢）の「博」号が岩手県代表牛に選ばれました。千葉さんは「初めて選ばれてうれしい。県の種雄牛のPRと好成绩を祈りたい」と期待を寄せました。



ふるさと便の商品をPR

7/27

ふるさとの香りを全国へ 一関ふるさと便実行委員会

一関ふるさと便「夏の便」の出発式を開き、ふるさとの爽やかな香りと味が全国へ発送されました。リンドウとりんご・とまとジュースに、今年から管内で生産された「ひとめぼれ」「金色の風」「銀河のしずく」が加わり、離れて暮らす家族へ届けられました。



あいさつする滝澤部会長

7/26

令和5年度産に意欲高めて J Aいちご生産部会

令和4年度生産販売実績検討会を開き、販売数量42ト、販売実績は過去最高額の5,149万円を確認しました。滝澤幸夫部会長は「燃料や資材の価格高騰で苦しい栽培経営となった。令和5年度も課題を乗り越え生産に力を入れていこう」と意欲をみせました。



生育状況を確認する生産者

7/26

整枝や防除をしっかりと J Aきゅうり部会

夏秋キュウリ指導会を管内の2会場で開催しました。7月下旬の生育状況を確認し、(株)埼玉原種育成会の職員が梅雨明け後の栽培管理の注意点を指導しました。圃場が過湿傾向で病害虫の発生が心配なことから摘葉や整枝、防除を徹底することを確認しました。



幼穂探しに集中する児童

7/21

稲の赤ちゃん見つけたよ 金沢小学校(花泉)

5年生12人は稲の幼穂観察を行いました。地元農家の佐々木弘さん(花泉)やJA職員の指導で稲の皮にカッターを入れ丁寧に、真つ白な稲の赤ちゃん探しに夢中になりました。阿部愛莉さんは「これがお米に育つんだ」と目を見守りました。

7/26

日本酒になり 海外に輸出

津田物産㈱と大手日本酒メーカー黄桜㈱がJAを訪問し、圃場視察や情報交換を行いました。黄桜の日本酒は当JA管内産「ひとめぼれ」を使用し製造されており、日本食ブームから海外で人気が高まっています。輸出用米への対応や安定生産を要望されました。



日本酒情勢や米の作柄を情報交換

7/26

農畜産物などをアピール 一関市



試食を味わいながら説明を聞くバイヤー

いちのせき食と農の商談会を開き、市内外の量販店や飲食業、宿泊業などのバイヤーに管内の農畜産物や加工品をPRしました。野菜ソムリエプロの木村千恵美さんが用意した夏秋野菜5品目の試食を提供しながら丁寧に説明し、商品の魅力を伝えました。

7/30

地元農産物をぜひ食べて 一関市

地産地消フェア&スタンプラリーを8月19日まで地産地消モデル店16店舗で開催しました。期間中に対象店舗で



JAファーマーズいわて平泉のフェアの様子

買い物や食事をした方を対象にしたスタンプラリーを応募した方に抽選で商品券が当たる企画で、市内産の野菜のPRと消費拡大を行いました。

8/2

おいしいニンジン育て JA女性部平泉中央支部



ニンジンの種まきをする部員

ニンジンの種まきを小野寺キイ子支部長の圃場で行いました。畑作りから畝立てをして種をまきました。9月には間引きを行い、11月中旬に収穫を予定しています。部員たちは、大きくおいしいニンジンに育つようお願いを込めながら成長を見守り管理します。

8/5

収穫前管理をしっかりと JA果樹部会りんご専門部



防除の確認をする生産者

りんご定例指導会および紅ロマン出荷規格説明会を管内9会場で開催し、早生品種の収穫前管理や紅ロマンの収穫の注意点などを確認しました。JA園芸課の吉田成美職員は「紅ロマンの出荷は食味を確認し、出荷時間などを守り搬入してほしい」と呼び掛けました。

8/3

**上物率91・6%
肉質上質
いわて南牛振興協会**

第14回いわて南牛枝肉共励会を行いました。7月30日に出発式を行い、出品された36頭の中から最高賞の名誉賞に千葉幹雄さん（藤沢）が輝きました。36頭のうち5等級に26頭、4等級に7頭、3等級に3頭が格付けされ、上物率91・6%となりました。



入賞された皆さんと関係者

8/13

**盆花販売などでにぎわう
JA女性部花泉中央支部**



切り花を買い求める客

ふれあい野菜市グループはふれあい野菜市大売り出しをJA花泉支店に隣接する野菜市店舗で開きました。盆用の切り花の他、トマトやエダマメなどの新鮮野菜、加工品、野菜苗などが並べられ、早朝から切り花などを買い求める客でにぎわいました。

8/14

**JA組合長賞に中嶋さん
藤沢野焼祭実行委員会**



佐藤鉦一組合長から表彰を受ける中嶋さん関係者⑤

縄文の炎・藤沢野焼祭2022が3年ぶりに開かれ、市内外から出品された約400点の中から、JA組合長賞に宮城県栗原市の中嶋美恵子さんの作品「夢見るウサギ」が選ばれました。中嶋さんは「焼き上がりが心配だったが受賞できてうれしい」とほほ笑みました。

8/18

**体験通じて進路の参考に
県立千厩高校**



キュウリの収穫作業をする生徒

令和4年度担い手確保連携事業の一環として生産技術科生産科学コース2年生14人は、小菊やトマトなど4カ所の園芸農家で農業実習を行いました。（農）ファーム小梨（千厩）には2人の生徒が配属され、キュウリの収穫や摘果などの作業を体験しました。

8/12

品質低下を防ぎ良質米へ



無人ヘリコプターで薬剤散布

斑点米被害を未然に防ぎ品質低下を防止するため、無人ヘリコプターによるカメムシ防除を各地圃場で行いました。県の調査では例年より多く発生すると予測され、注意が呼び掛けられていました。管内のすくい取り調査では少なかつたものの適期防除に努めました。

8/25

**硬度に注意して
 収穫を**
 JA果樹部会梨専門部



目ぞろえする生産者

梨出荷目ぞろえ会を開き、荷受け体制や出荷規格、収穫の注意点を確認しました。糖度や地色は平年並みで硬度は例年より低い傾向にあるため、一関農業改良普及センターの米田莉子技師は「食味を確認し、硬度低下に気を付けて収穫しましょう」と呼び掛けました。

8/19

体験から地域農業を学ぶ



教わりながら作業をする新人職員

令和4年度JA職員農業研修が8月23日までのうち10日間の日程で行われました。入組2年目職員がトマトやピーマン、小菊の農家で収穫や出荷調整作業などを体験しました。生産現場の農作業を体験し、地域農業に理解を深めると共に今後の業務に役立てます。

8/25

良質な生乳生産に向けて
 JA酪農部会



講習を受ける生産者

磐井地方乳牛改良検定組合と合同で酪農講習会を開き、暑熱対策と生乳需給を巡る情勢について学びました。年々厳しくなる暑さに対応し、乳量を落とさず良質な生乳を生産するために、牛舎内の環境を改善することなど、残暑に向けてできる対策を確認しました。

8/26

このみんのフレコン登場



収穫用に使用するこのみんフレコンバック

JAマスコットキャラクターの「このみん」が描かれた令和4年産米収穫用のフレコンバックが登場しました。管内の各地区のカントリーエレベーターやライスセンターで搬入用に貸し出します。数に限りがありますので、借用希望の方は担当職員にご確認ください。

8/22

愛情込めたエダマメを
 JA女性部平泉中央支部



エダマメのもぎ取りを指導する小野寺支部長⑥

部員が育てて収穫したエダマメを平泉小学校に寄贈し、3年生48人がエダマメをもぎ取る体験を行いました。エダマメは調理し、全校児童が給食で味わいました。小野寺キイチ支部長は「愛情込めて作ったので、味わって食べてほしい」と話しました。